

国際基督教大学（ICU）高等学校 帰国生徒入試に関する Q&A

2022 年 10 月

本校の帰国生徒入試に関して皆さまから多くお寄せいただくご質問について、以下の項目に分けてまとめました。

本校にお問い合わせをいただく際には、まず必ずこちらの Q&A に回答が記載されていないかご確認くださいの上で、下記の帰国生徒教育センターまでお問い合わせいただきますようお願い申し上げます。

- | | |
|----------------------|--------------|
| 1. 本校の帰国生徒としての資格について | 7. 寮について |
| 2. 帰国生徒資格認定について | 8. 奨学金について |
| 3. 募集要項の請求について | 9. 授業について |
| 4. 提出書類について | 10. 進路について |
| 5. 試験内容について | 11. 部活動について |
| 6. 9月編入学について | 12. 国際交流について |

なお、記載されております内容は、作成時点でのものとなっております。

帰国生徒資格認定や入学試験の詳細につきましては、必ず、当該年度の募集要項ならびに、本校HPに掲載される最新情報をご確認いただきますようお願い申し上げます。

4月入学試験については、例年7月下旬頃に募集要項（PDF版）を本校HPにて公開しております。ご出願される方は、8月上旬以降に本校HPの資料請求フォームから募集要項（冊子）をお取り寄せください。

※本校では2022年度入試より、Webエントリーを導入しております。

出願方法やプロセスについての詳細は、募集要項や本校HPにてご確認ください。

※今後決定される事項につきましては、その都度速やかに本校HPにて公開してまいりますので、こまめにご確認いただくことをお願い申し上げます。

<帰国生徒入試に関するお問い合わせ先>

国際基督教大学高等学校 帰国生徒教育センター

E-mail: icuh-s-rs@icu.ac.jp Tel: 0422-33-3407

< 1. 本校の帰国生徒としての資格について >

帰国生徒入試はどのような生徒が受験できますか？

日本国籍または日本の特別永住権を有し、海外に勤務する保護者との重複する海外在留期間が所定の期間内に1年6か月以上あり、かつ帰国後5年以内という帰国生徒の資格を認定された生徒を対象にした試験です。

必ず、受験される年度の資格認定の申請を本校HPから行ってください。

(詳細については必ず受験される年度の募集要項をご確認ください。)

在留期間の「1年6か月」は、どのようにカウントすればよいですか？

募集要項の「帰国生徒出願資格」の(4)に記載がありますので、ご確認ください。

(過去の募集要項を参考にされた際は、必ず受験される年度の募集要項をご確認ください。)

「帰国後5年」は、どのようにカウントすればよいですか？

募集要項の「帰国生徒出願資格」の(4)に記載がありますので、ご確認ください。

(過去の募集要項を参考にされた際は、必ず受験される年度の募集要項をご確認ください。)

Grade 9 未修了なのですが、出願できますか？

本校の帰国生徒としての資格が認められれば、入学年の6月までにGrade 9 修了見込みの場合、本校所定の「9年生 (Grade 9) 未修了受験要望書」をご提出いただくことで、帰国生徒入試に出願することができます。

※School Year の関係で修了見込み月が7月以降の場合、必ずお問い合わせください。

※一般入試 (国際生徒枠含む) は、Grade 9 未修了での受験はできません。

イギリスでYear 9 を修了しました。9か年の課程を修了したので、学齢に満たなくても出願できますか？

日本の学校教育においては学齢に達していないと入学が認められません。4月2日から翌年の4月1日までの間に16歳になる生徒が学齢的に高校1年生となります。

(英国式のYear 1 は5歳からとなるため、日本の中学校3年生にあたる学年はYear10 となります。)

現在、国内のインターナショナルスクールに通っていますが、海外在留の経験はありません。帰

国生徒として受験できますか？

国内インターナショナルスクールの在籍歴だけでは、帰国生徒入試に出願できません。

国内インターナショナルスクール在籍歴のみの場合は、入学年の3月までに中学3年相当(米国系の場合 Grade 9)を修了もしくは修了見込みであれば、一般入試の国際生徒枠に出願できる可能性があります。

詳しくは、4月入試の募集要項(例年7月下旬以降公開)をご覧ください。

志願者が海外勤務の保護者に帯同せず海外留学をしました。

帰国生徒として出願できますか？

本校の帰国生徒としての資格を得るためには、「海外に勤務する保護者との重複する海外在留期間が所定の期間内に1年6か月以上」という要件を満たすことが必要です。

志願者のみの単身留学の場合や、海外勤務を行っていない付き添いの保護者と留学をされた場合、その期間は上記の期間に算入することはできません。もし、その期間以外で出願要件を満たすことができない場合は、帰国生徒として出願することはできません。

ただし、海外留学の期間によっては、一般入試の国際生徒枠での受験が可能な場合がございますので、募集要項にてご確認ください。

(過去の募集要項を参考にされる際は、必ず受験される年度の募集要項をご確認ください。)

< 2. 帰国生徒資格認定について >

帰国生徒入試を受験するには、資格認定が必要とのことですが、どのようにすれば受けられますか？

帰国生徒入試の出願資格があるか否かを確認するため、Web エントリー前に「帰国生徒資格認定」を完了することが必要です。

本校HPの[帰国生徒資格認定](#)の説明をお読みの上、本校HP上からWeb 帰国生徒資格認定を行なってください。

(お電話、メールによるお問い合わせのみで資格の有無についての正式なお返事はできかねますので、ご了承ください。)

▶ [Web 帰国生徒資格認定](#)

4月入学

開始時期：入学する前年の5月上旬頃

完了期限：推薦入試は10月20日、書類選考入試・学力試験入試は11月30日

9月編入学

開始時期：編入学する年の4月上旬頃

完了時期：編入学する年の6月10日

※本校所定用紙の「海外勤務（在留）証明書」が勤務先から発行されない勤務形態（海外現地雇用、自営業など）の方は、事前提出書類が必要となり、これらの書類が全て揃ってからの資格確認開始となります。事前提出書類の詳細は、Web 帰国生徒資格認定に情報をご入力いただきからのご案内となりますので、お早めにご入力ください。

< 3. 募集要項の請求について >

募集要項(願書)の入手方法について教えてください。

4月入学募集要項は例年8月上旬から配布しています。本校HPの[「学校案内/募集要項」](#) → [「資料請求」](#) をご覧ください。

※募集要項の発送は国内のみとさせていただいておりますため、海外在住の方はお手数ですが、国内にお住まいの方に入手・転送をご依頼願います。

海外在住で、致し方ない理由で募集要項(冊子)を入手することが不可能な方は、帰国生徒教育センターまでご相談ください。(国内在住の方は必ず冊子を入手してください。)

※出願書類の提出は国内外問わず郵送にて受け付けます。

< 4. 提出書類について >

「成績証明書 ア)」=成績証明書 と「成績証明書 イ)」=レポートカード(通知表)のコピーの両方を必ず提出する理由は何ですか？(推薦入試と書類選考入試)

レポートカードには先生からのコメント、学期毎の成績記載など、成績証明書よりも詳しい情報がある場合が多いため、受験生の努力を見ることができるので審査の参考にしています。学校によっては、これらの書類が別々に存在しない場合もあります。その場合でも、印字された内容が全く同じで構いませんので、必ず片方は学校による厳封で、もう片方は必要に応じて保護者の方が補足説明(学校特有の記載の説明や、Honor/Advanced、一学年上のクラス等の履修クラスのレベル、コメントの抄訳など)を加筆してご提出ください。

出願に必要な成績書類が中学校3年間とありますが、Grade 6の成績証明書を提出する必要がありますか？

必要な成績書類は、日本の学齢での中学1年生(4月)時点で在籍している学年から中学3年生(本校の出願時まで)の期間の全てとしております。例えば、中学1年生の4月～8月はアメリカの現地校のGrade6に在学していた場合、その期間の成績が分かるGrade6の成績証明書も提出してください。

成績証明書の発行が難しい場合には、その期間の在籍が分かる在学期間証明書を厳封で発行してもらってください。

出願時期よりも前に帰国します。帰国する際に、海外の現地校から「成績証明書」を発行してもらったほうがよいですか？(Grade8を修了し、推薦入試を条件bで出願する場合、「校長推薦書」も同様か)

確定した成績や、転出された学校からの「校長推薦書(英文)」等の発行日は問いませんので、帰国前に発行してもらうことをお勧めします。いずれも「厳封」が必要な書類ですので、開封せずに保管し、「厳封」のまま提出してください。

厳封での成績書類の取り寄せのために、本校募集要項に「Request for Official Transcripts」というフォームを掲載しています(H Pからのダウンロードも可能です)。必要に応じてご活用ください。

推薦入試条件bで提出が必須となっている「校長推薦書(英文)」は、必ず本校の所定フォームを使用してください。所定フォームは本校ホームページからダウンロード可能です。

新型コロナウイルスの影響により、中学校3年生の1学期の成績が付かないかもしれないと言われています。推薦入試条件aの「3年次の学年成績の合計が9教科5段階評価で40以上であること」という条件について、何か配慮は行われますか？

本校の推薦入試でご提出いただく調査書に記載していただく3年生の成績に関しては、「1学期末」と規定しているわけではございません。2学期途中などでの成績評価がなされるかどうか、通われている国内中学校・日本人学校とご相談いただければと思います。

成績書類や、「Principal's Recommendation Form」(所定用紙)は、日本語、英語以外の言語で記載されていてもよいですか？

原則、日本語または英語での記載をお願いしております。
どうしても難しい場合は、事前にご相談ください。

日本人学校から国内中学校に編入(またはその逆)で卒業見込みの場合、「調査書」は両方の学校から必要ですか？

「調査書」は、卒業見込みの日本の教育制度の学校（日本人学校、国内中学校）からのみ発行される書類です。

日本の教育制度間での転入学であれば指導要録等が引き継がれているため、最終在籍の学校に、本校所定用紙「調査書（帰国生徒・国際生徒枠用）」での作成をご依頼ください。念のため最終在籍校の先生に、以前在籍した日本人学校の成績などが調査書に含まれることを確認することをお勧めします。（間に海外の教育制度の学校が入る場合は、以前いた学校には個別に成績証明書類の作成をご依頼いただく必要があります。）

日本の教育制度の学校で卒業見込みですが、在学期間が短いため、成績はつかないと思います。その場合でも「調査書」の提出は必要ですか？

出願時に日本の教育制度（日本人学校、国内中学校）で卒業見込みの場合、必ず本校所定用紙の「調査書（帰国生徒・国際生徒枠用）」をご提出ください。学校にご依頼される際は、転編入の情報、卒業見込みであること、欠席日数等の記載をお願いしてください。成績等、記載ができない部分は斜線記入でかまいません。

※「欠席日数」については、調査書記入時点での日数で結構です。
「欠席の主な理由」欄に、x月xx日時点とご明記ください。

「海外在留（勤務）証明書」（所定用紙）は勤務先企業と紙でやり取りしなければいけませんか？

日本企業から発行されるこちらの書類については厳封不要のため、本校HPからダウンロードできる所定フォーム（PDF）でのやり取りをしていただいてもかまいません。出願の際に、企業の人事部等から受け取ったデータをプリントアウトし、同封してください。また、4月入学試験を受験の場合で海外帯同期間が入学前年の5月以降まで及ぶ場合は、可能な限り、5月以降に発行していただくようご依頼ください。

帰国生徒の推薦入試と書類選考入試を併願する場合の書類の提出はどのようにするのですか？

共通の書類（志願者在留・在学情報シート、海外在留（勤務）証明書、成績書類など）の再提出は不要です。Webエントリーシステムのマイページから、併願する入試の受験料をご入金の上、申込内容確認書および写真票のみを印刷してお送りください。成績書類については、最終成績など、新たな成績が出た場合は同封してください。

※募集要項の〈入試別 出願書類早見表〉をご参照ください。

外国語検定試験結果を提出する場合、コピーでよいですか？

本人の氏名、日付、試験の結果が確認できれば証明書のコピーで結構です。縮小して貼付していただいてもかまいません。

有効期限は特に設けておりませんが、可能な限り新しいものが望ましいと考えます。複数ご提出いただいてもかまいません。

検定試験の日程が延期になっています。取得できない場合はどうすればいいですか？

推薦入試に必要な外国語検定試験のスコアについて変更の予定はありません。TOEFL 等はオンラインによる試験も開始されていますので、そちらでの受験もご検討ください。

TOEIC IP、 TOEFL ITP は推薦入試では使用できませんのでご注意ください。

英語以外の外国語検定試験結果の基準（推薦入試条件）はどのようになっていますか？

公に認められた外国語検定試験について、本校で定めた基準がありますので、帰国生徒教育センターまでメール（icuh-s@icu.ac.jp）にてお問い合わせください。

推薦状（任意）を提出したい場合、誰にどのような内容を書いてもらえばよいですか？

任意の推薦状につきましては、特にこちらから書いていただく方を指定することはいたしません。もし現地での志願者様の学習についてご存じの方に書いていただけるようでしたら、ご提出いただく成績書類を補完するものとしてより参考になるかと思えます。

日本語または英語による記載であれば、書式は任意です。（ただし、推薦入試の校長推薦書フォームは使用しないでください。）厳封も不要です。ご提出いただく場合は 1,2 通を目途にしていただければと思います。

学校の成績以外の学習記録や課外活動の資料も提出してよろしいでしょうか？

推薦入試の場合は、自己 PR カードに課外活動などについて書いてください。推薦入試、書類選考入試ともに、際立った活動や成果などがあれば、バックグラウンドの一つとして拝見しますので、数枚程度のコピーを提出していただいてもかまいません。

< 5. 試験内容について >

帰国生徒対象の「推薦入試」とはどのような入試ですか？

「推薦入試」は、本校が定めた出願条件を満たした帰国生徒が出願できる入試で、合格した場合は入学辞退ができません。

合格者の選考は、海外および国内で在籍した中学校での成績、外国語検定試験結果、自己 PR カード、校長推薦書などの書類審査と面接で行ないます。

詳しくは募集要項をご覧ください。

海外の全日制日本人学校に3年間在籍して、卒業する予定です。推薦入試や書類選考入試の書類審査では、どのような内容が審査されるのですか？

それぞれの経歴や背景を踏まえ、調査書や通知表に記載される3年間の学業成績や所見、諸活動の記録、外国語検定試験の結果などを審査します。推薦入試の場合は、学校長の推薦書と自己 PR カードも審査の対象となります。

書類審査の場合、成績の評価はどのように行うのですか？

志願者の経歴を踏まえ、学習状況を細かく審査します。学習言語習得の状況、学習への取り組み、履修科目数や、クラスのレベルなども重要な要素となります。

是非、保護者様には「成績書類イ）」での補足説明等をお願いいたします。

海外の現地校に通っていますが、渡航後1年目は言葉ができず成績が良くありません。書類選考の際、不利でしょうか？

渡航後徐々に海外の環境に慣れて、言語の習得が進み、各教科の評価が向上する事が望ましいと考えています。渡航したばかりの成績は、あまり心配する必要はありません。

日本に帰国後、慣れない日本語環境での授業についていくのが精一杯で、帰国前のような成績がとれません。合格は難しいでしょうか。

渡航直後と同じく、帰国直後も、慣れない環境で以前のような成績をとることは難しいだろうと理解しております。徐々に慣れ、各教科の評価が向上することが望ましいと考えています。

面接はどのように行われますか？日本語があまり得意ではないので不安です。

面接は、教員2人と受験生1人で日本語にて行いますが、日本語の能力が合否に影響することはありません。

帰国生徒学力試験の場合、調査書の成績が学科試験の点数に加えられるそうですが、調査書の点

はどのように計算するのですか？

3年生の9教科の評定を各10点満点として、調査書点を3教科の学力試験の得点に加えます。

例) 中学校で勉強している9教科の成績がオール4だとします。その場合 $4 \times 9 = 36$ 、それを2倍した72点が調査書点となり、学力試験の合計に加算します。

帰国生徒学力試験において、海外現地校の成績はどのように扱われるのですか？

海外現地校の成績をもとに本校において9教科分の成績を判断し、その成績を5段階評価に置き換えて、調査書と同じ扱いで計算します。

学力試験ではどのような問題が出るのですか？

一般入試と同じ問題です。過去の入試問題集に取り組んでみてください。大手書店で販売されています。また、各教科の出題のねらいと学習アドバイスを、本校の学校案内に掲載しています。帰国生徒の学力試験入試は一般入試とは別枠で審査しますから、一般生と競争することはありません。

帰国生徒学力試験入試は募集人数が少ないので、同じ日程と問題なのであれば一般入試に出願したいのですが可能ですか？

倍率だけ見た場合、帰国生徒学力試験入試の方が難しいように見えますが、一般入試とは異なり、海外で学んできた経歴も考慮して判定する試験となっているため、帰国生徒の資格をお持ちの場合は必ず帰国生徒学力試験入試を受験してください。

<6. 9月編入学について>

帰国生徒入試の4月入試に合格して、9月から通学することは可能ですか？

できません。4月入試は4月からの通学を前提とした入試です。

海外の現地校やインターナショナルスクールに学年末まで在籍し、9月からICU高校の通学を始めたいというご希望の場合は、9月編入学試験をご検討ください。

なお、本校は原則として高校1年生の4月に入学していただくことを前提としております。9月編入学については、毎年必ず募集は行いますが、1年生・2年生ともに、3月以降急遽ご帰国せざるを得なくなった方に向けて門戸を開くためのものとなりますので、基本的に若干名程度の募集となることが多いということをご承知おきください。

9月編入学試験は、帰国生なら誰でも受験できますか？

9月編入学試験については、海外に勤務する保護者との重複する海外在留期間が1年6か月以上あり、かつ、その期間がその年の3月以降に及んでいることなど、4月入学とは異なる条件が設定されています。（詳しくは、9月編入学募集要項をご覧ください。）

4月入学と9月編入学の両方の試験を受けることができますか？

海外の現地校またはインターナショナルスクールから直接受験する場合は、4月と9月、両方の受験が可能です。

ただし、上記にもありますように、9月編入学の募集人数は基本的に若干名程度となることが多いことをご承知おきください。

<7. 寮について>

学寮は、希望者全員入れるのでしょうか。

希望する生徒全員が入れるとは限りません。

保護者が両親とも海外在住など、必要性が高いご事情の方から優先して入寮可能かどうか決定します。

入退寮は学期ごとにお認めしており、保護者の方のご帰国、再度の海外転勤などに伴い入退寮が発生することもあります。

入寮を希望する場合、身元引受人は関東在住でないといけませんか？

週末を含む閉寮時に滞在する民間寮の方を身元引受人にすることはできますか？

緊急時に本校からの連絡に応じて、すぐに駆けつけていただけることが必要となります。

例えばインフルエンザ罹患時などには、身元引受人様に迎えに来ていただき、身元引受人宅にてお過ごしいただくこととなります。

また、本校の学寮は週末閉寮というシステムを取っておりますため、毎週末、身元引受人様の元でお過ごしいただくこととなっております。

その他、試験休みや長期休暇なども閉寮となりますのでご承知おきください。

閉寮時のみ、学外の民間寮（費用別途）にて過ごす生徒もおりますが、その場合でも、民間寮の方を身元引受人とすることはできません。別途、必ずご親戚など、保護者の代わりになっていただける身元引受人を立てていただく必要があります。

保護者が急遽再び海外に転勤になった場合、入寮することはできますか？

入寮については、学期ごとにお認めしております。学期の区切りで空きが出た場合、入寮できる場合があります。

<8. 奨学金について>

奨学金にはどのようなものがありますか？

本校の学校案内（HPからPDFをご覧ください）をご参照ください。

<9. 授業について>

帰国生と一般生は同じ授業を受けるのですか？

帰国生の取り出し授業はありますか？

英語のクラス分けはどのようになっていますか？

英語・国語・数学については4～5段階にレベル分けされており、自分にふさわしいレベルの少人数クラス（20～25名）で学びます。教科によっては、学期単位でレベルの移動も行われます。

英語での授業は一日どのくらいありますか？

ICU 高校は日本の教育制度に基づく高等学校ですので、授業は基本的に日本語で行われます。1年生については「英語」の授業は全て英語で行われ、週に最低6時間あります。5つのレベルのクラスに分かれて、少人数で学びます。レベル1～3は、英語圏の現地校の授業に相当する内容で行われ、多様な文学作品をじっくり読み、ディスカッション、プレゼンテーション、エッセイへと展開します。

2年生以降は選択する授業によります。

帰国生の語学力を保持する仕組みはありますか？

第二外国語としてはフランス語、ドイツ語、スペイン語、中国語の選択クラスがあります。各言語圏からの帰国生には高度内容の「上級」クラスが全学年で、初心者には入門の「基礎」クラスが2年次に開講されます。

文系の高校というイメージがありますが、理系の授業はどのような感じですか？

数学はレベル別での少人数授業を行っており、理科では、「一授業一実験」をめざして、少人数

グループでの実験観察とレポート作成の機会を多く取り入れています。3年次には、演習科目を多く配し、大学入試に即した学力養成をはかります。

<10. 進路について>

ICU（国際基督教大学）への推薦枠はありますか？

本校から 80 名の推薦枠があります。推薦されるためには、大学側が提示した条件を満たす必要があります。

文系の高校というイメージがあるのですが、理系への進学はどのような感じですか？

理系の生徒も例年 2～3 割くらいおり、毎年医学部等への進学実績もあります。

ICU（大学）は教養学部一学部の編成ですが、「生物学」「物理学」「化学」「数学」「情報科学」などのメジャーがあり、ICU から海外や国公立大の大学院へ進む卒業生も多くいます。

海外大学への進学を希望する場合、サポートはありますか？

海外進学者はどのくらいいますか？

AP については、English Literature and Composition が開講されています。

SAT の受験などについては、ネイティブ教員が相談に乗っています。

例年、一般生も含め 10 名程度が海外（英語圏以外含む）に進学しています。

<11. 部活動について>

ICU 高校の部活動について教えてください。

本校の部活動については、本校の学校案内（HP から PDF をご覧いただけます）や本校 HP の "School Life" のページをご参照ください。

練習の頻度などは部によって異なりますが、兼部をする生徒もいます。

最終下校時刻は、夏季（4 月～9 月）は 18:00、冬季（10 月～3 月）は 17:30 です。

部活動等はこの時間に間に合うように終了します。

<12. 国際交流について>

国際交流プログラムについて教えてください。

例年実施している各種スタディーツアーについては、2022 年度は海外に渡航するプログラムはまだ実施できていませんが、国内で行うプログラムは再開しています。また、オンラインで実施されているプログラムは通年で様々実施しています。

以上